



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2018年4月 - 6月号

Vol.42

## 支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつも暖かいお祈りと尊いご支援を心よりありがとうございます。

Vol. 41 (1~3月号)にて皆様にお祈りをお願いした妻(純子)の乳腺炎は、レターをお送りしてから徐々に快方に向かい、この2ヶ月は病院に行く必要も殆どなくなりました。皆様のお祈りに心より感謝いたします。9ヶ月になる娘(かなえ)も元気に成長してくれており、子どもは様々な意味で神からの「贈り物」だということを実感する日々を過ごしています。

娘が生まれる前に読んだ『新しいパパの教科書』(NPO 法人 ファーザリング・ジャパン著)という本に、「よい父親ではなく、笑っている父親になろう」という言葉を見つけ、昨年秋に父親になってから、これを「子育ての座右の言」として歩んでいます。考え方によっては「大変だ」と思うようなこともないわけではないのが育児ですが、それ以上に娘が笑顔をたくさん与えてくれています。

振り返りますと結婚した翌年に、燃え尽きと鬱を患い、寛解期も含めると回復には4年ほどを要しました。主観的には30代後半が「消えてなくなった」ように感じていましたが、40代になり、人生と家族の歯車が再び回り始めているのを感じます。「深い穴の中にいた30代後半」があったからこそ、今こうして大きな恵みとしての「ありふれた日常」があると思います。病氣療養中も支えて下さった皆様、そして今も支えて下さっている皆様に、重ねて感謝を申し上げます。



## 練馬グレースチャペルと FVI の宣教協力

私たち家族が所属している練馬グレースチャペルは、現在教会堂の新築工事に伴い、約1年間の、「建物のない教会」としての歩みをしています。横田牧師を通して導かれている2018年度の教会のビジョンは、「荒野を旅する喜びの教会が、主の栄誉を宣べ伝える」というものです。後半の「宣べ伝える」という点において、FVIは宣教協力のご依頼をいただきました。「包括的な宣教」について、年度前半は聖書からの学びと理解、秋以降の後半からは実践のお手伝いをさせていただく予定です。

「包括的な宣教」とは、福音を「宣教の言葉」だけでなく「愛の行動（教会としての社会奉仕と個人による愛の実践）」を通して現し、教会が地域社会や国を変革する「神の国の大使館」として用いられていくことを目指す「宣教観」であり、FVIがこの8年間目指してきたものです。5月13日には「もしイエス様が市長だったら」というセミナーを私がさせていただき、6月には柳沢美登里氏による、ウクライナのメシアニックジュー（キリストを信じたユダヤ人）、およびインドにおけるキリストの弟子たちの働きからの学びの機会が持たれました。練馬グレースチャペルを通して神の国が広げられていく「触媒」としての良い働きが出来るよう、お祈りいただけますと幸いです。

## 高校生に「福音」を語る。大学で獣医師として授業をする。

6月4～6日の3日間、関東学院中学校高等学校の高校1年の修養会の講師を務めさせていただきました。同校の高校1年生約250名に、「自分を知る」というテーマで、主題講演・ワークショップ・朝の礼拝の3度にわたりお話をさせていただきました。自分のこれまでの体験を交え、「聖書が教える神の愛」に基づいて話させていただきました。「友達をつくること」の意味を聖書から語った礼拝の後、ある先生からは「中学生の娘に今日の話を聞かせたかった」と言っていました。



また、同じ週の6月4日には、足立区にある帝京科学大学の「生命環境学部・アニマルサイエンス学科」の非常勤講師として、「動物国際事情」の授業を担当させていただきました。2002年に獣医師となり社会人になってから16年間、私は立場を変えながら「動物と人間（社会）」のあり方について考えてきました。それらを踏まえて、「動物に携わる仕事をする人は、その社会が持つ世界観や思想と無縁ではられない」ということを語らせていただきました。学生からは積極的に質問が寄せられ、ご依頼くださった先生からもご好評をいただきました。神に導かれて歩んで来た、一風変わった私のこれまでの経歴・経験が、このような形で社会に還元されたことに感謝を覚えました。

## メッセージ要約

「遠くまで行きたければ」 主題箇所：ヨハネによる福音書 15 章 13 節

2018 年 6 月 6 日、関東学院高校修養会・朝の礼拝にて

あるイスラエルの諜報家は、「親友というのはその人間の体重と同じぐらいの黄金の価値がある」と言っています。金の価格を 1 グラム 5,000 円としますと、体重 70 キログラムならば 3 億 5 千万円です。じっさい、ひとの人生の幸福は、収入が多いことや仕事で成功することよりも、「親しい友人がいるかどうか」に左右されるということを数多くの調査研究が示しています。また、「早く行きたければひとりで行きなさい。遠くまで行きたければ一緒に行きなさい」というアフリカの古い諺が示すように、皆さんが先の見えない時代と言われる 21 世紀を生きていく上で、「親しい友人（親友）」を作ることが出来、友情を育てていけるかどうかは、とてもたいせつなことです。

「親友」とは SNS でつながっている 100 人のことでもありませんし、「この人と付き合っていると自分にメリットがある」という損得勘定で交友する人のことでもありません。逆説的ですが、じつは親友とは「互惠関係」ではなく、「自分に何の得にならなくても、この人が困っていたらどんな犠牲を払っても助けてあげたい」と思うような誰かだと、ビートたけしは著書の中で書いています。「そんな誰かがひとりでもいるなら、人間として幸せだ。」（『全思考』北野武 幻冬舎）



では、どのようにして親友をつくる事が出来るのでしょうか？

私の人生を通して皆さんに言えるのは、大人になっても親友を作ることが出来る人は、「自己開示できる」「孤独を恐れない」「見返りを期待せずに他者に与える」という資質を持っています。この3つのことが出来るためには、「自己肯定感・自己重要感」が前提になります。これは「他人や世間が何と言おうと、自分はこれでいい。自分は大切な存在だ。」と思える感覚のことです。

私自身が皆さんと同じ 15 歳だったとき、自己肯定感が低い高校生でした。自分に自信がなく、「自分には何の価値もない、自分は駄目な人間だ」といつも思っていました。それなのに今、大人になった私は、望外に素晴らしい「親友たち」に恵まれていると思います。何が起きたのでしょうか。振り返ると、18 歳のとき、「わたしの目にはあなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」（イザヤ書 43 章 4 節）という聖書の言葉に出会ったのが、人生の転換点でした。それから教会でさらにキリスト教について勉強し、「人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません（ヨハネによる福音書 15 章 13 節）」と言われたイエス・キリストが、文字通り私のために命を捨てて下さったことを知ったとき、「もしかしたら自分には価値があるかもしれない。」と思うようになりました。この「自己肯定感のタネ」のおかげで私は自己開示をし、同調圧力に負けないことを覚え、キリストの真似をして少しずつ「他者に与える」ということが出来るようになりました。そうして親友を作れるようになると、その親友がさらに「自己肯定感・自己重要感」を育ててくれました。

皆さんは 15 歳のときの私のように「自分は駄目だ」なんて思っていないかもしれませんが、もし今「自分は駄目だ」と思っている人がいるのなら、どうか全宇宙の創造者が「わたしの目には、あなたは高価で尊い」と言っておられることを覚えておいてください。



## 祈りの課題

- ◇家族の健康が支えられ、神のために喜びをもって奉仕することが出来るように。
- ◇様々な形での働きを通して、神の国の拡大のために意味のある貢献が続けられるように。
- ◇FVI と「支える会」の会計が満たされ、活動が続けられるように。

## 2018年7月以降の予定

月 日	内 容	場所、補足
7月1日	包括的宣教セミナー（神田師と）	練馬グレースチャペル
7月29日	礼拝メッセージ奉仕	久遠キリスト教会（杉並区）
9月15日	職員向けメンタルヘルス研修講師	社会福祉法人 堂里夢（豊橋市）
9月16日	礼拝メッセージ奉仕	ICBC（愛知県蒲郡市）
9月25～28日	DNA Asian Forum	チェンマイ（タイ）
10月29日	FVI 総会	本郷台キリスト教会
11月23～24日	よにでしセミナー第二期 in 札幌	芸森スタジオ（札幌市）
未定（今年後半～来年前半）	海外パートナーの訪問（調整中）	インド
随時継続的に	FVI の各種活動	国内各地

\* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

## 連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」  
陣内への Email [shun@karashi.net](mailto:shun@karashi.net) ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

## 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \* 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \* 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- \* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。